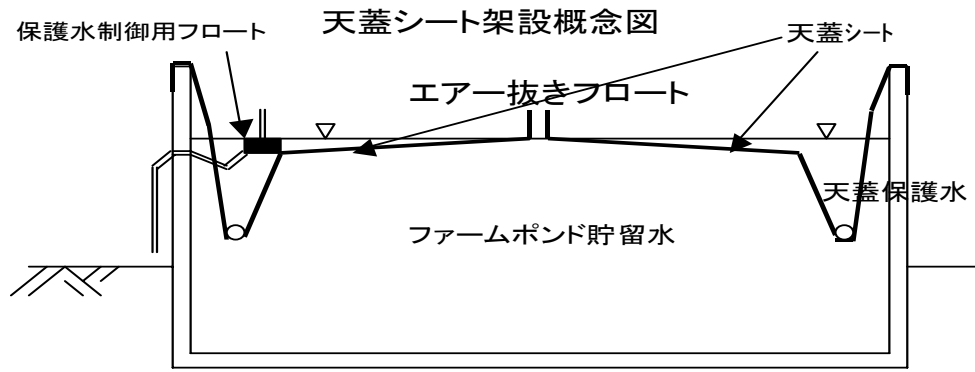


農業農村整備事業における導入実績及び事例

実 績			
新技術の名称	貯水槽の水上浮上式天蓋の開発		
実績件数	国営事業	県営事業	団体営事業
	0 件	0 件	1 件
農政局名 都道府県 市町村名	国営事業所名 都道府県出先事業所名	工事名	年 度
北海道新冠町	北海道補助事業	M牧場スラリータンク整備工事	H 1 5

事 例			
事業名 実施地区	M牧場スラリータンク整備工事	実 施 年 度	平成15年度
概 要	<p>1、工事の概要 北海道M牧場で設置されたスラリータンクの雨水浸入防止用の覆いとして水上浮上式天蓋が設置された。スラリータンクは直径26.99mのプレキャスト型のPCコンクリート製タンクで水深は4mである。</p> <p>2、工事の実施状況 工事はPCタンク設置完了後、約1週間かけてボムシート天蓋の設置工事を行った。水槽壁上部にシートを固定するプレートを設置工事のため、足場撤去はシート仮敷設まで延期していた。</p> <p>3、設置後の状況 シート設置後の冬季間に温度がマイナス20度ぐらいまで下がるため、シート状況の調査を行ったが氷および寒気によるシートへの影響はなかった。 また、設置した秋に風速30mの強風が吹いたが、シートの浮き上がり等の障害はなかった。</p>		
新技術適用 による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・従来工法の屋根設置工法と比較すると、新技術の水上浮上式天蓋工法と比較にすると75%の減になった。 ① FRP製工法 40～60m²/千円 ② コンクリートドーム工法 45～60m²/千円 ③ PC/RCコンクリート版工法 40～60m²/千円 ④ H型鋼+鉄板工法 25～55m²/千円 ⑤ 天蓋シート 12～15m²/千円 ・工期の70%短縮が図られた。 ・EPDMシートの耐用年数は50年である。(メーカー試験値) その他設置効果として下記のとおりである。 ・アオコ・アオミドロの発生による悪臭 ・塵埃の混入によるスプリンクラー等の目詰まり ・悪性貝の発生や雑草混入 ・水質劣化による作物への斑点や異臭の付着 ・異物混入による配水管の閉塞や流量低下 		



農業用貯水槽



①タンクの清掃



②シート材料の搬入



③壁部シートの設置



④天井シートの設置



⑤エア抜きフロートの設置



⑥天蓋完成状況

実施状況写真